

平成29年度第1回日進市食育推進委員会議事録

日 時：平成29年7月13日 午後1時30分から午後3時まで

場 所：日進市中央福祉センター2階 多機能室南

出席者：委員9名 事務局5名

〔委員〕安達内美子、竹下穰、橘由貴子、武田保、岡本光帆、福岡光枝、小塚久美、鏡味美智代、下野房子（欠席：小野田笑子）

〔事務局〕鈴木敦詞課長補佐（産業振興課）、岩城佳寿主査（産業振興課）、木村文香係長（健康課）、榊原裕美管理栄養専門員（こども課）、山本重樹主任専門員（学校給食センター）

傍聴者：1名

事務局： 只今より平成29年度第1回日進市食育推進委員会を始めさせていただきます。本日は大変お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。食育推進委員会の事務局であります産業振興課の鈴木と申します。よろしく願いいたします。

はじめに、会議の定足数についてご報告いたします。

委員10名中9名ご出席されており、本設置要綱第6条第2項に規定する半数以上の出席条件を満たしておりますので、ここに平成29年度第1回日進市食育推進委員会を開催いたします。

それでははじめに、委員長からごあいさつをお願いいたします。

委員長： 本日はお忙しい中、また大変暑い中ご出席いただきありがとうございます。

本日の議題で事業実績報告等がありますが、様々な機会に他市町の活動状況等を見聞きする際、特に目標も無く、その場限りで終わってしまう事業が散見されるのが残念に感じています。事業を通じて市民の生活が変わっていくような目標を作っていけるよう話し合いができたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

事務局： ありがとうございます。

会議に先立ちまして、事務局の異動がございましたので異動があった職員の紹介をさせていただきます。

産業振興課長が蟹江健二、課長補佐が鈴木敦詞、学校給食センターが山本重樹、学校教育課が山田ゆかり、以上です。

なお、本日は、産業振興課長の蟹江と学校教育課の山田が、他の公務のため欠席させていただきます。

それでは、会議に移らせていただきます。これより先は安達委員長に議事進行を

お願いいたします。

委員長： 本日、傍聴者希望の方が1名いらっしゃいます。

傍聴を許可してよろしいでしょうか。

委員全員： 異議なし

委員長： 全員異議なしとのことですので、傍聴者の方に入室していただきます。

(傍聴者入室)

委員長： それでは、次第に従って進めさせていただきます。

次第2 平成29年度事業実施報告(4月～6月実施分)について、事務局から説明をお願いします。

事務局： 今年度の実施予定事業のうち、4月から6月までに実施した内容について、各課の担当者からご説明させていただきます。

それでは、産業振興課から順にご説明させていただきます。

産業振興課： まず始めに、本日欠席しております学校教育課分のご説明をさせていただきます。

各校とも、ミニトマト、ピーマン、ナス、きゅうり、オクラ等の夏野菜を栽培・収穫し、調理実習などで使用しています。現在は、ぶどう、米、さつまいも、かぼちゃ等を栽培中です。

平成30年度も、平成29年度と同様に小中学校での収穫体験を通して、食の理解を促進していきます。

次に産業振興課分のご説明をさせていただきます。

6月7日(水)、6月21日(水)に梅干作り講習会を行いました。定員15名のところ、定員を超える19名にご参加いただき大変好評でした。

「おうちでごはんの日」については、毎月19日に職員全員のパソコンに「おうちでごはん」のお知らせを送信し啓発するようにしました。

また、本日の資料として配布させていただいています広報につきん6月号で、見開き2ページを使って栄養成分表示について掲載し、市内全戸配布してお知らせしました。

昨年度に引き続き、今年度もアグリスクールという農学校事業を実施し、初級、中級、上級、水田などのコースで年間を通して農体験をしていただいております。

その他、毎週日曜日に野菜研究会のみなさんが開催している朝市ですが、7月2

3日（日）に朝市41周年記念市を開催いたします。

平成30年度も今年度と同様の事業を継続して実施したいと考えております。

健康課： 健康課では、食育の視点も取り入れながら、健康づくりのための事業を実施しています。

乳幼児健診や各種教室で、食に関する講話を実施し、食生活改善推進員の協力をいただきながら、お子さんを対象にした食育に関する出前講座等を行っています。出前講座は10年以上続いており、今年度も実施しております。

食生活改善推進員活動支援事業の中で年5回の研修を行っていますが、6月の研修時に、広報につしん6月号を用いて栄養成分表示についてお話しさせていただきました。

野菜をとろうキャンペーンや、生活改善のため、につしん健康マイレージ事業も継続して実施しています。

名古屋学芸大学に協力していただいていたヘルピー健康だよりですが、大学生の視点で大学生が発信するというコンセプトで今年度も継続して実施いたします。

こども課： こども課では、保育の中で食育を行っています。

本日の保育園の昼食は手巻き寿司でしたが、自分で巻くことで、にんじんやきゅうりを普段食べない子どもたちも楽しく食べていました。

また、保育園では子どもたちがきゅうり等を育て、収穫した野菜をクッキングして食べるということも行っています。

その他、きゅうしょくカレンダーの中で、毎月19日の食育の日について記載しPRしました。6月のきゅうしょくカレンダーでは、広報につしん6月号の記事を用いて、食育推進協力店の紹介もしました。

また、各園において、食に関する様々なイベントを行っています。

朝食を食べてもらうために、簡単にできる朝食レシピのリーフレットを保育園の保護者に配布しました。

このように、保育園では、毎日の生活の中に食育を組み入れています。

学校給食センター： 小学校3年生、5年生、中学校1年生を対象に、朝食指導の時間の中で朝食の大切さをお話ししました。

毎月配布している献立表の中で、和食の食材の紹介やおうちでごはんの日についてのお知らせも行っています。

また、6月の食育月間には、クラス掲示用リーフレットを作成し、献立の中の愛知県産、日進市産の食材を紹介しました。

給食だよりでは、栄養成分表示について紹介しました。

その他、給食で食べたい献立を募集し、採用されたものについて可能な範囲で給食に取り入れる事業も行っています。

事務局： 各課からの説明は以上です。

委員長： ありがとうございます。

今の説明で、何か意見や質問はありませんか。

委員： 保育園で野菜を作っているとのことですが、どれくらい作っているのでしょうか。できた野菜は園児が収穫するのでしょうか。

こども課： 園によって異なっており、栽培する量はそれほど多くはありませんが、給食の食材の一部に使用しています。野菜の収穫は園児が行っています。

委員： 配布資料の今年度実施予定事業一覧についてですが、昨年度配布されたものと内容は同じでしょうか。

事務局： 内容は同じです。実施事業説明の際、参考としていただくために配布しました。

委員： 昨年度に予定した内容と、今年度実際に実施する内容とでは相違がでてくることもあると思います。資料に記載する内容を、実施した事業、実施しなかった事業、変更になった点等のみを記載するようにすると見やすいと思います。

その他、につきん健康マイレージ事業について、応募人数はどれくらいあったのでしょうか。

健康課： 昨年度のカード発行枚数は511枚でした。そのうち80%以上の方が、健康づくりを意識するようになったと回答しており、健康を見直すきっかけにさせていただくという本事業の目的は達成できたのではないかと考えています。

委員： 511枚というのは少ない方ですか。

健康課： 他市町では100枚前後という所が多いので、日進市は多い方だと思います。

委員： 学校給食で、残飯は多いでしょうか。

食べ切れなかった給食を別のクラスの食べたいという子どもたちに提供している

という話を聞いたことがあります、本当でしょうか。また、残飯の量が学校の評価等に影響するということがあるのでしょうか。

学校給食センター： 残飯の量で学校の評価は行っていませんが、各学校に残飯量等のデータは提供しています。また、各学校の指導方針にもよりますが、食べ切れなかった給食をなるべく廃棄処分しないようにするため、他のクラスの子どもたちに提供している学校もあると聞いています。

委員： どのような献立の時に残飯が少ないのでしょうか。

学校給食センター： パンの日や洋風の味つけの日は少ないです。逆に、和え物、具だくさんの汁物や豆料理の時は多く残る傾向があります。ただ、同じ味つけが続いても良くないため、バランスを考えながら献立を考えています。

委員長： パンの時は残飯が少ないとお話がありましたが、パンを半分残した場合と米を半分残した場合とでは当然重さは違ってくるため、一概にパンが米より人気があるということの意味するものではないので、誤解がないように注意が必要だと思います。

委員： きゅうしょくカレンダーはA4サイズで両面印刷ですか。

こども課： A3サイズで片面印刷です。本日は資料として配布するため、A4サイズで両面印刷しています。

委員： とても良い内容のものなので、文字を大きく見やすくするため、両面印刷すると良いと思います。

委員長： 冷蔵庫に貼って利用する場合には、片面印刷がいいかもしれませんね。

委員長： 食育に関するイベントを開催する際には、きゅうしょくカレンダー等にイベントについて掲載してもらえると効果的です。

こども課： 発行時期に間に合えば掲載も可能です。

委員： 保育園で野菜を作っているとのことですが、園で作っていない野菜の栽培農家を見学させていただくような事業を実施するのはいかがでしょうか。色々な野菜の栽

培の様子が勉強できて良いと思うのですが。

委員：農協で農家情報を持っているので、農家様と市を繋ぐことは可能だと思います。

委員：じゃがいもの芽を食べて食中毒になったというニュースを観たが、調理の知識を身に付けるためにも調理実習は大切だと思う。

委員：小学校でも調理実習は行っているので、引き続き指導していきたいと思います。

委員：じゃがいもの芽は食べてはいけないということは常識だと思っていたので、食中毒のニュースには驚きました。家族や知人等から当たり前に伝えられていた知識が、今は伝えられなくなっているのではないかと思う。

委員長：様々な事業の中でそのような知識をお知らせしていけるといいと思います。

委員：健康マイレージカードの発行枚数が511枚とのことですが、年代別の内訳はどのようなになっていますか。

健康課：30代から80代まで幅広く登録していただいております、年代の高い方が若干多いですが、各年代で大きく偏りはありません。

委員：例えば、老人クラブの集まりに健康課が健康マイレージ事業の説明に来てもらえるのでしょうか。

健康課：健康課では出前講座を行っていますので、お声がけいただければ、健康に関する講座の一環として健康マイレージ事業の説明をさせていただくことは可能です。

委員長：他にご意見がなければ次の議題に移らせていただきます。

議題3 第3次日進市食育推進計画策定に係るアンケート項目について、事務局から説明をお願いします。

事務局：現在の第2次日進市食育推進計画は、計画の期間が平成26年度から平成30年度までの5年間となっています。来年度に第3次日進市食育推進計画の策定作業を行う予定ですが、そのための基礎資料とするため、今年度にアンケートを実施いたします。

本日の配布資料で、食育推進計画アンケート項目（案）を配布させていただいて

おります。委員のみなさまには、アンケートの項目にはどのような項目が必要か、また、アンケートの対象者はどの範囲にするのか等について、ご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

委員長： このことについてご意見やご質問等がありますか。

委員： アンケート項目（案）の対象者について、「就園児保護者」と「乳幼児保護者」は「成人」に含まれているのでしょうか。

事務局： 含まれておらず、別々の扱いとなっております。

委員： 子育てをしている方であれば朝食摂取割合も高いと思われるので、「就園児保護者」と「乳幼児保護者」を「成人」に含めると、「成人」全体の朝食摂取割合が引き上げられて良いと思います。

委員長： アンケートは、第2次計画の評価とともに、第3次計画の目標設定の際の基礎資料となるため、国や県の食育推進計画も参考にしてアンケート項目を考える必要があります。

国の第3次食育推進基本計画では20代～30代の若い世代の食育を重視しているため、アンケート対象者の項目に若い世代を追加してもいいのかなと思います。

また、市の計画の中で子どもから高齢者までの食育を謳っているため、対象者に「高齢者」が抜けているのではないのでしょうか。

健康課： その点につきましては、健康課から参考のためにご説明させていただきます。

第2次日進市食育推進計画に使用されているデータは、健康課が第2次いきいき健康プランにっしん21を策定した際に行ったアンケート結果をそのまま使用しています。この中で「成人」は、高齢者世代も含めた上で無作為抽出を行っています。

委員長： ライフステージごとの食育という観点から、「高齢者」と「成人」を分けた方が、それぞれの問題点が分かると思います。

委員： 20代から30代で、子を持つ人とそうでない人では食に対する意識も異なると思うので、「成人」を、子どもがいる人といない人に分けて比較するのも興味深いと思います。

委員長： アンケートとは直接関係ないのですが、子どもや高齢者が家庭以外で共食できる

場が増えていくことも大切だと思います。

委員： アンケート項目「毎日1食でも一緒に食事をする家族や友人がいる割合」では、中学生、高校生が調査対象になっているが、給食を含めるかどうか。

委員： アンケート項目「毎日1食でも一緒に食事をする家族や友人がいる割合」では、小学3年生、小学6年生には聞いていないのですね。

委員長： それは別項目の「朝食を家族と食べている児童の割合」「夕食を家族と食べている児童の割合」として、小学3年生、小学6年生に聞いていますね。

委員： アンケート項目「地産地消を認知している人の割合」と「地産地消という言葉の認知度」は、内容が異なるのでしょうか。

事務局： 内容が重複しているため、1つにします。

委員： 学校給食で、日進市産の食材を使用する際には、お知らせしているのでしょうか。

学校給食センター： 日進市産の食材を使用する際には、献立表に印をつけて分かるようにしています。また、教室でお知らせすることもあります。

委員： では、子どもたちは地産地消という言葉に触れているということですね。

学校給食センター： そのとおりです。

委員長： アンケート項目（案）の中に、「食品ロスの削減」という項目が記載されている理由は何でしょうか。

事務局： 第2次日進市食育推進計画にその項目は無いのですが、国や県の計画も参考にし、（案）に記載させていただきました。

委員： アンケート項目それぞれについて、回答の選択肢を作るのでしょうか。

事務局： 第2次いきいき健康プラン21策定の際と同様に、回答の選択肢を作ってアンケートを行う予定です。

委員： 調査方法はどのようにする予定でしょうか。

事務局： 「成人」は対象者を無作為抽出の上で郵送し、学生等は学校等を通してアンケートを実施する予定です。

委員： 調査対象者はどれくらいの規模を考えているのでしょうか。

事務局： 第2次いきいき健康プランにっしん21では、「成人」約3,000名、「乳幼児保護者」約400名、「就園児保護者」約650名、「小学3年生」約450名、「小学6年生」約470名、「中学3年生」約870名、「高校生」約410名を対象に調査を行いました。

委員長： 回答率はどれくらいだったのでしょうか。

事務局： 有効回収率は、20歳以上の市民が43.7%、保育園保護者、市役所職員及び企業では約84%、学生は90%以上、全体でみると約74%でした。

委員： 「児童の食生活について」の項目の中で、児童の朝食摂取の状況をアンケートしているが、高齢者にとっても朝食は大切なので、高齢者の朝食摂取状況についてもアンケートを行った方が良いと思います。

事務局： 各アンケート項目の対象者についても、委員の皆様のご意見をいただきながら検討させていただきます。

委員長： 食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」を言っている成人の割合についても気になる場所ですね。

委員： 前回のアンケートでは、対象者によって質問内容は異なっていたのでしょうか。また、乳幼児保護者や就園児保護者も無作為抽出するというイメージでしょうか。

健康課： 例えば小学生へのアンケートは、保護者が回答するのではなく、小学生自身に回答をしてもらっていますので、質問を平易な表現にし、ふりがなを付ける等の対応をしました。そのため、対象者によって、若干異なるアンケート用紙を使用しました。

「成人」は無作為抽出でしたが、「乳幼児保護者」は乳幼児健診の機会を利用して実施し、「就園児保護者」は保育園等を通じてアンケートを実施しました。

委員長： 会議後に意見を思いついた場合には、事務局にお伝えすればよろしいでしょうか。

事務局： ご意見等がございましたら、7月末までに産業振興課へご連絡ください。

委員： 本日配布された資料や印刷物の見開きの方向が異なっていて、ファイルに閉じた際に見にくいため、見開きの方向を統一してもらえると見やすくなると思います。

委員： アンケート項目で「適正体重をしている人の割合」とありますが、自分の適正体重を知る機会はなかなかないように思います。

健康課： 特定健診や保健指導の機会等に情報提供を行っています。また、ポスターを掲示してお知らせする取り組みも行っています。

委員： 第2次食育推進計画に、適正体重についてのアンケート結果が掲載されていますが、どの年代も70%以上と高い割合となっています。

委員長： 市民に取り組みの情報が行き渡ることが大切ですね。

委員： 前回の調査を参考にして今回のアンケートを実施するのでしょうか。

事務局： 前回の調査結果との比較も必要であるため、前回調査を基本としてアンケートを実施したいと考えております。

委員： 参考に前回調査のアンケート用紙を送っていただけませんか。

事務局： 郵送させていただきます。

委員長： それでは、議題3 その他について、事務局から何かありますか。

事務局： アンケート項目（案）について皆様にご意見をいただくため、9月頃を目途に第2回食育推進委員会を開催させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

委員長： ありがとうございます。
すべての議題が終わりましたので、進行を事務局にお返しします。

事務局： 長時間にわたり、ありがとうございました。

みなさまのご協力により、全ての議題を終えることができました。

これで平成29年度第1回日進市食育推進委員会を終了させていただきます。

本日は誠にありがとうございました。